



9月6日(土)はセンターのビッグイベントのひとつである“わいわい祭り”でした。今年も、**情報ボランティアの会(八王子)**様、**コーヤシステムデザイン**様と一緒に、電子機器を使って余暇を楽しんでいただくイベントを実施しました。たくさんのご来場、ありがとうございました！

●情報ボランティアの会(八王子)のゲームコーナー

毎年わいわい祭りを盛り上げてくださる**情報ボランティアの会(八王子)**様に今年もご参加いただきました。水鉄砲やiPadなど私たちの身近にある道具を様々なスイッチと繋げることで、バリアフリーに楽しむことができ、楽しみ方の幅をさらに広げられることを今年も教えていただきました。



●コーヤシステムデザインの「マジックカーペット」

昨年度に引き続き、**コーヤシステムデザイン**様にもご参加いただきました。カーペットの上に乗って、スイッチを押すと、ゆっくり前後左右に進んだり、くるくる回ったり・・・まさに“魔法のじゅうたん”です。なお、本体は車椅子ごと乗れるようにデザインされており、スイッチは手元まで移動させることができます。ご自身で車椅子を操作することが難しい方も、ボタンを押して楽々移動を楽しむことができていました。



●株式会社ラッキーソフトの「TANO」

以前、ピコピコニュースでご紹介させていただいた、**株式会社ラッキーソフト**様開発のゲーム機です(次回改めてご紹介します)。一番の特徴は人がコントローラーの代わりになること。センサーがプレイヤーの身体の動きや声を感知してゲーム内に反映してくれるため、手先の細かい操作がいらず、様々な方に気軽に楽しんでいただくことのできるゲームだと思います。また、腕や足を大きく動かさずゲームもあるので、軽い運動としてもオススメです。



●Wiiの「太鼓の達人」

センター内の活動で病棟や外来の利用者様にも大人気な**Wii**。今回は、太鼓とバチのコントローラーを4セットご用意して、“太鼓の達人”を楽しんでいただきました。臨場感が出て、ゲームセンターに負けない盛り上がりを見せていました。



●iPadのアプリ「GirlsCamera」を使ったプリクラ撮影



今年も多くの方の素敵な笑顔を撮影させていただきました。お待ちいただく時間が長くなってしまい、申し訳ありませんでした。来年度もより多くの方にスムーズに楽しんでいただけるよう、工夫していきたいと思えます。なお、今回使ったアプリはこちらの(左)2つです。アプリとプリンターがあれば、ご家庭でも簡単にお楽しみいただけますので、ぜひご利用になってみてください♪

(臨床心理科 和田)

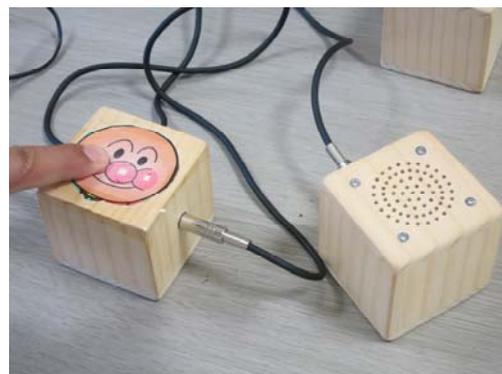


『リハビリ遊具の工房』の紹介

今回、埼玉県にある『リハビリ遊具の工房』とお話をする機会を得られました。こちらの工房は、パソコンソフトや電子回路のエンジニアの方々や重い障がいを持つ方々やその現場で働く方々が出会って、新しい遊具やスイッチ、センサー、ソフトなどを開発しているグループです。今年の7月に開催された**マジカルトイボックス(東京)**で知り合うことができました。**ピコピコルーム**は、当センターの取り組み等の紹介を主にしたブースで参加していました。そこに参加されていたブースの一つ、『リハビリ遊具の工房』と話し合うことができました。『リハビリ遊具の工房』の**川島さん**は活動を熱心に教えてくれました。『リハビリ遊具の工房』の作品群や最近、いろいろなセンサーに注目していることなど教えてくれました。そして、重い障がいを持つ方々やその現場で働く方々のニーズを大事にしていることを知りました。

そして、9/2に、『リハビリ遊具の工房』の方々が当センターまで来所され、持ってきた作品群を見ながら、ゆっくりとお話をする機会を得られました。スタッフには、某有名家電メーカーのエンジニアの方や某有名大学の学生さんも来ていただきました。右の写真は、**木箱に軽くタッチ**ただけで、**LED電飾**が綺麗につき始めます。センサーや電子回路を組み合わせて作成されたものです。

右の写真は、木箱にアンパンマンのイラストが貼ってあります。**ほっぺたや鼻、口など顔のパーツを触るごとに違う音が出る**ようになっています。**木のスピーカーに繋げると音が出ますが**、他の木箱に繋げると**木箱自身が振動を起こす**ものもありました。その他にも手袋タイプのセンサースイッチ等見せていただけました。



いろいろな作品や実際重度心身障害者のお宅でご本人と一緒に様々なセンサーや機器類を工夫してきた話などを聞くことができました。

これからも話し合いを続け、当センターのイベントに協力していただきながら、**ピコピコルーム**とより良い関係を作り、利用者様が楽しめるようにしていきたいと思えます。最後に記念撮影をさせていただきました。『リハビリ遊具の工房』の皆様、これからよろしく願いいたします。(PT科 岸野)



島田療育センター 支援部生活支援室 ピコピコルームとは？

「ピコピコルーム」は、島田療育センターの利用者(入所・外来)の皆様方が、パソコンやタブレットなどのIT機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を拡げたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部署です。